



第20回新株予約権発行による ファイナンスに関する説明資料

データセクション株式会社

2025年2月18日

証券コード：3905

- 第20回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行
- 資金需要や市場環境等を勘案し、より柔軟かつ機動的な資金調達を行うとともに、既存株主の持分の希薄化への影響に配慮しながら自己資本を増強することが可能な設計

第20回新株予約権（行使価額修正条項付き）	
割当先	ハヤテマネジメント株式会社 (以下「ハヤテ」)
基準株価	688円
当初行使価額	688円 ※基準株価の100%
行使価額の修正	直前取引日の終値×90%（1円未満切り上げ）
下限行使価額	344円 ※基準株価×50%
発行価額	総額15,488,000円（1個当たり3.52円）
発行新株予約権数	44,000個（1個当たり100株）
行使期間	2025年3月7日～2026年3月6日（1年間）
調達予定金額*	3,009,200,000円 @ 当初行使価額 = 688円 1,495,600,000円 @ 下限行使価額 = 344円
希薄化率**	24.85%
資金使途	(1)DSクラウドスタックの開発・構築資金 (2)AIデータセンター運営関連の合併会社向け出資、DSAIファンド向け出資 (3)採用費、人件費、手元資金等の運転資金 (4)借入金返済

* 当初行使価額×総発行株数－発行諸費用概算で算出。発行価額の総額は、割当予定先の当社に対する貸付債権との相殺による払込みとなるため、調達予定金額には含まず

** 本新株予約権がすべて行使された場合に交付される株式数4,400,000株（議決権の数44,000個）となり、2025年2月13日現在の当社の発行済株式総数17,703,051株（2024年9月30日（当社が総議決権を確認できる本発行決議日から最も近い日）現在の総議決権数176,279個）に占める割合が24.85%（議決権ベースの希薄化率は24.96%、いずれも小数点以下第3位を切り捨て）に相当

- メリット、デメリットを総合的に勘案した結果、今回の資金調達手法が当社のニーズを充足し得る現時点での最良の選択であると判断

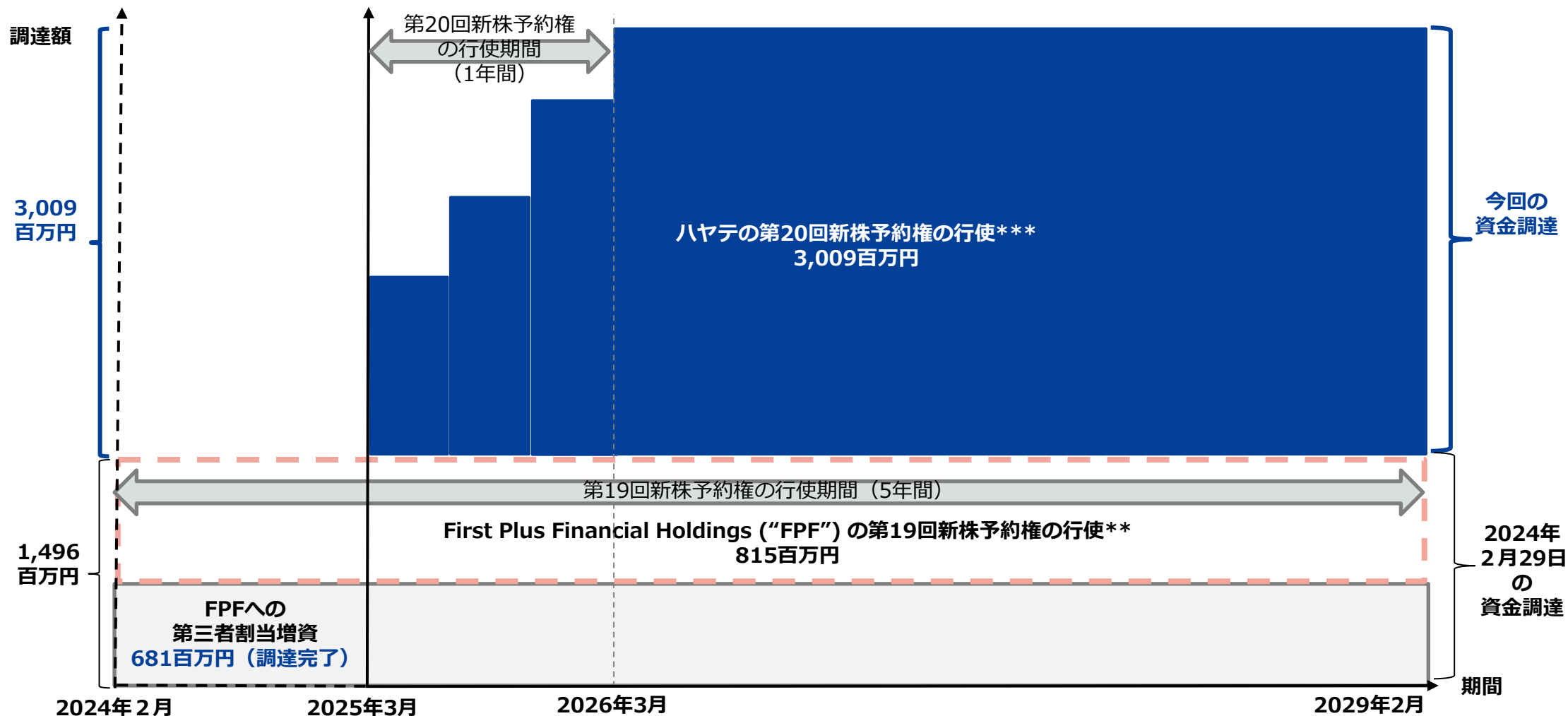
メリット

- **過度な希薄化の抑制**
 - 最大交付株式数が限定されており（但し、株式分割等の株式の希薄化に伴う行使価額の調整に伴って、調整されることがある。）、当初見込みを超える希薄化は生じない
 - 下限行使価額が設定されており、経済的な意味の希薄化も一定限度を超えて生じない
- **株価への影響の軽減**
 - 各修正日の直前取引日の終値を基準として修正される仕組みとなっており、行使価額が上方にも修正される可能性がある
 - 行使数量制限が定められ、複数回による行使と行使価額の分散が期待される
- **将来的な株価上昇の場合、希薄化を軽減可能**
 - 上限行使価額の設定はなく、株価が上昇した場合、行使価額も対応して上昇し、希薄化抑制も可能
- **その他**
 - 割当予定先であるハヤテは行使による取得する普通株式の長期保有意思を有しておらず、及び経営に関与する意思を有していない

デメリット

- **調達額が予定額を下回る可能性**
 - 下限行使価額が設定され、発行後の株価水準次第で、一部又は全部の行使がされない可能性がある
 - 行使価額が下方にも修正される
- **資金調達の長期化**
 - 株式の流動性が減少した場合は、資金調達完了までに時間を要する可能性がある
- **経営戦略へ影響を及ぼす可能性**
 - 上記のように調達額が予定額を下回る場合や資金調達完了までに時間を要する場合、資金使途に適時に充当できない可能性や、経営戦略の遂行に影響を及ぼす可能性もがある
- **今後の資金調達方法の制約**
 - ①当社及びその関係会社の役員及び従業員を対象とする新株予約権又は譲渡制限付株式報酬制度に基づく株式発行や②他の事業会社との間で行う業務上の提携を除き、一定期間、割当予定先による事前の書面同意がない限り、株式、新株予約権等又はこれらに転換し若しくはこれらを取得する権利が付与された証券の発行が出来ない

- 2024年2月29日の資金調達で681百万円を調達済み
- 今回の資金調達として**3,009百万円***を調達予定



* 第20回新株予約権は当初行使価額ですべて行使されたと仮定した場合の調達額を算出

** 第19回新株予約権は2024年8月22日時点で0個行使。当社の資金需要に応じてFPFは行使する方針だが、株価動向次第では行使が行われない可能性あり

- 2024年8月20日公表「2025年3月期第1四半期決算説明資料」のAI関連新戦略の遂行にあたり、主に以下の3点に支出予定

(i) DSクラウドスタックの開発・構築資金

- 金額：1,000百万円
- 支出予定期間：2025年3月～2025年6月
- 概要：
 - ・DSクラウドスタック（AI向け大規模GPUクラスターの運用最適化アルゴリズム）の開発・構築費用
 - ・外部委託先のNNJ社^(*)からの協力を得ながら共同開発、同社への外部委託費に充当。当社グループ内の発生費用は(iii)より充当予定

(ii) AIデータセンター運営関連の合併会社向け出資、DSAIファンド向け出資

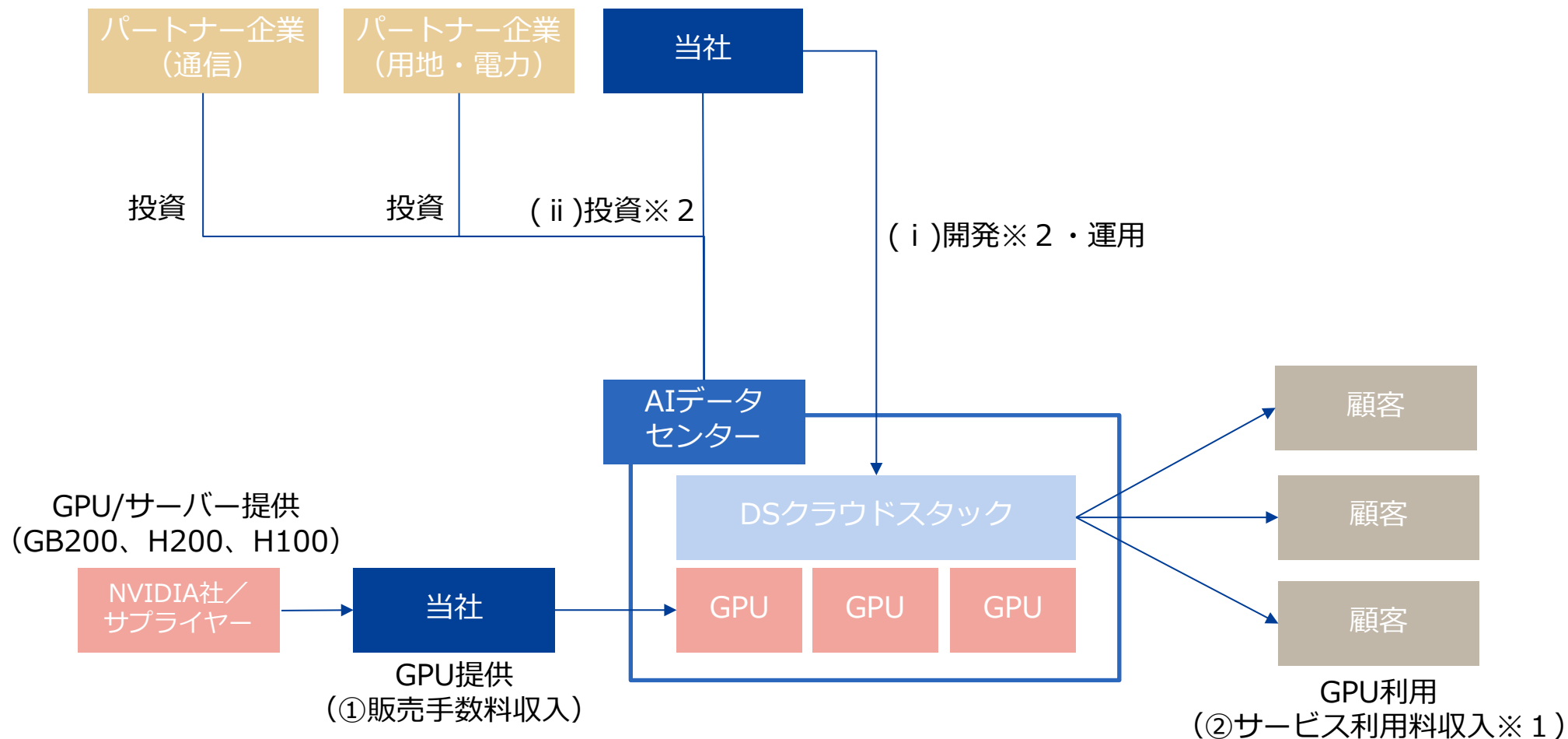
- 金額：709百万円
- 支出予定期間：2025年4月～2026年3月
- 概要：
 - ・AIデータセンター運営関連の合併会社向け出資、又は、
 - ・当社がGP若しくはCo-GPとなり、グローバルでのAIデータセンター等のAIインフラを投資対象とするDSAIファンドの組成、当該ファンド向け出資

(iii) その他（採用費、人件費及び手元資金等の運転資金、並びに、借入金返済）

- 金額：700百万円（採用費、人件費、手元資金等の人件費）、600百万円（借入金返済）
- 支出予定期間：2025年4月～2027年3月（採用費、人件費、手元資金等の人件費）
2025年3月～2026年2月（借入金返済）
- 概要：
 - ・当社グループにおけるグローバルベースでのAIデータセンター・AIクラウド事業を担うエンジニア及びコーポレート部門要員の採用費、並びに人件費及び手元資金等の運転資金
 - ・財務健全性の向上を図るための借入金の返済（ハヤテからの384百万円の借入金含む）

(*) ナウナウジャパン株式会社（所在地：東京都中央区、代表者：近江 麗佳、以下「NNJ」）

- AIデータセンターを直接投資型の場合は、**2パターンの売上構造**
- AIデータセンター投資からのリターン



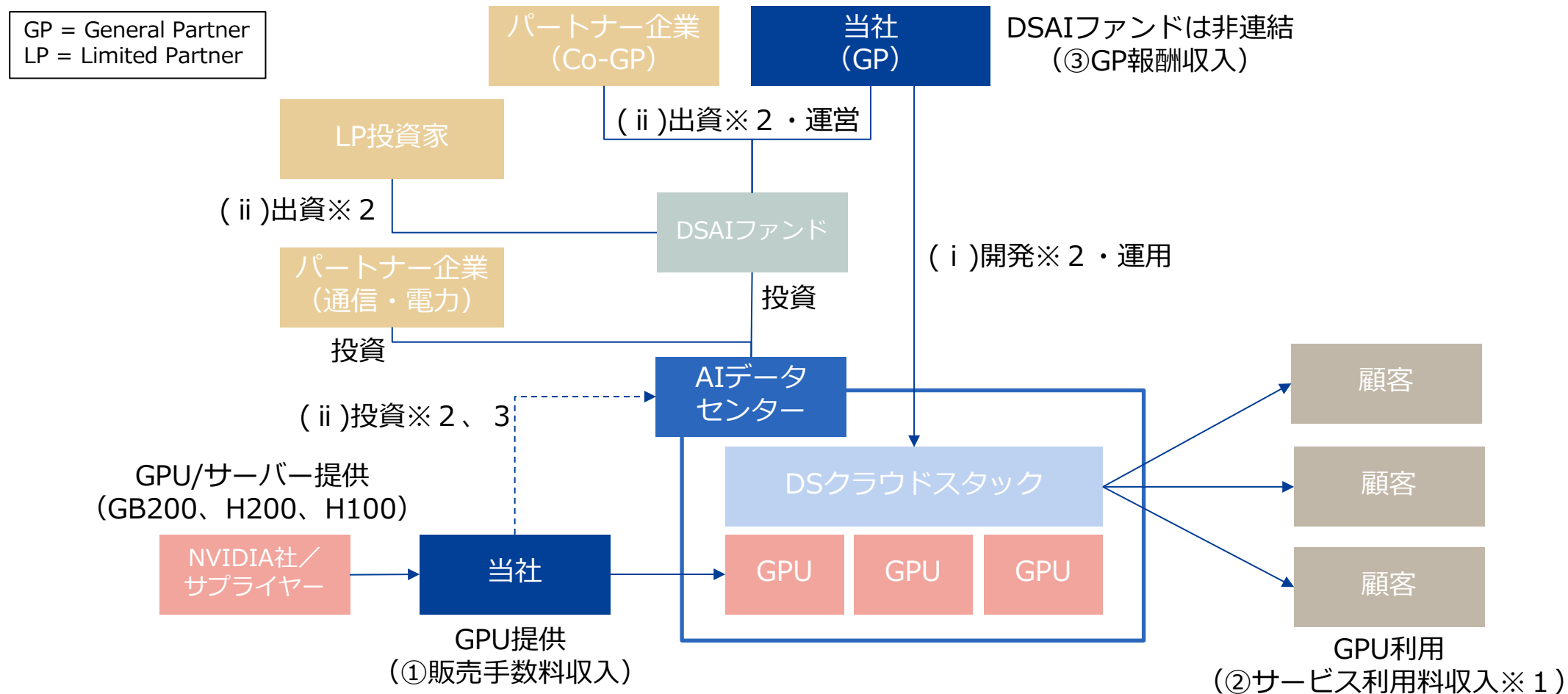
※1 顧客のGPU利用によるサービス利用料収入は、当社とAIデータセンターでシェア

※2 今回の資金調達による資金用途の一部は以下

(i) DSクラウドスタックの開発・構築資金：1,000百万円

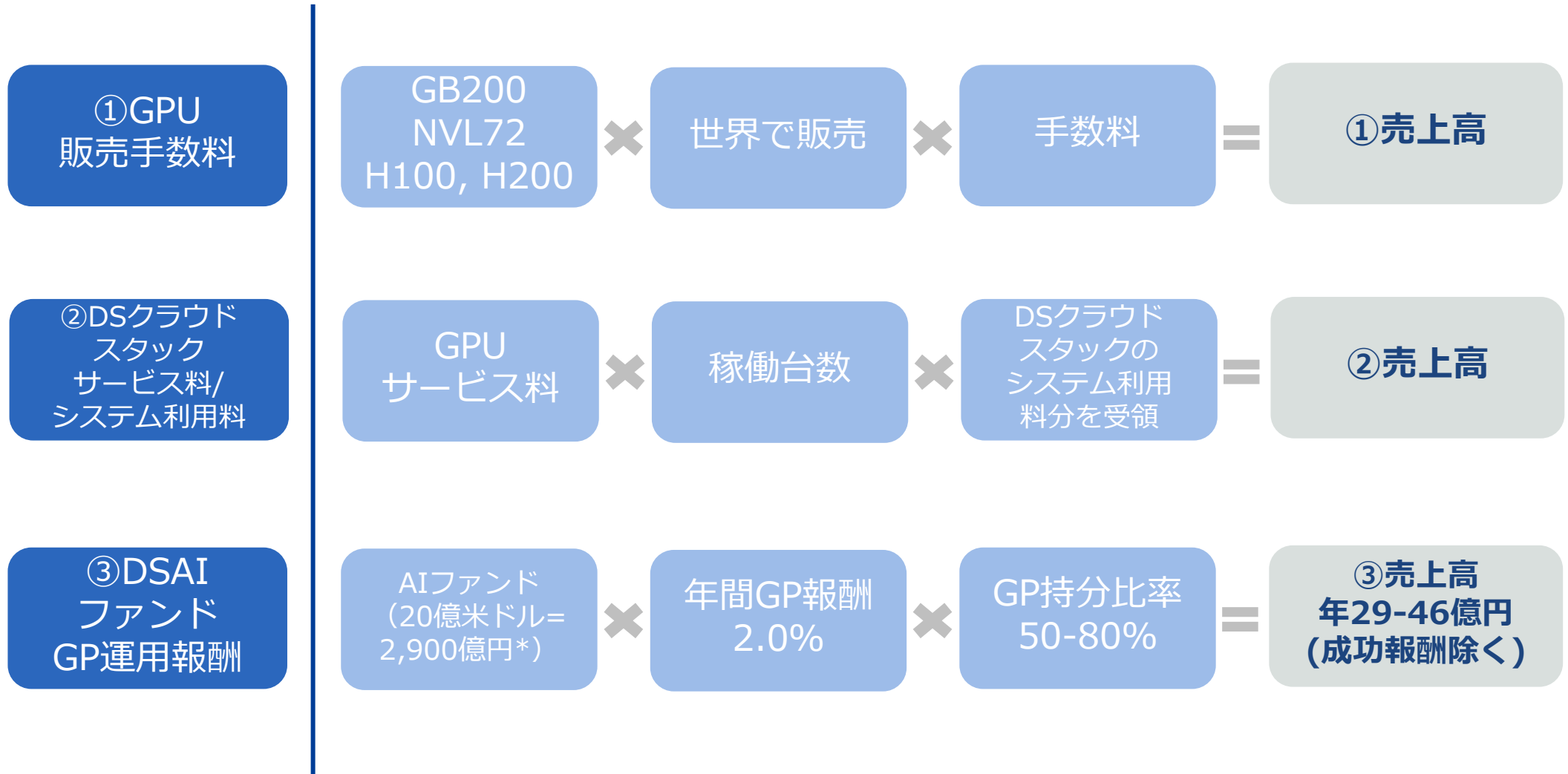
(ii) AIデータセンター運営関連の合弁会社向け出資、DSAIファンド向け出資：709百万円

- AIデータセンターをファンドから支援する場合は、**3パターンの売上構造**
- DSAIファンド投資からのリターン



- ※1 顧客のGPU利用によるサービス利用料収入は、当社とAIデータセンターでシェア
- ※2 今回の資金調達による資金用途の一部は以下
 - (i) DSクラウドスタックの開発・構築資金：1,000百万円
 - (ii) AIデータセンター運営関連の合併会社向け出資、DSAIファンド向け出資：709百万円
当社がLP投資家としても出資を行う可能性あり
- ※3 当社が直接投資するAIデータセンターもDSAIファンドの投資対象となる可能性あり

- 新規事業であるAI関連事業からは、主に以下の**3パターン**の収益を想定



(*) 2024年8月20日開示の2025年3月期(1Q)決算説明会資料と同じ為替レートを使用

データセクション株式会社

ir@datasection.co.jp
03-6427-2565

〒141-0031

東京都品川区西五反田 1 丁目 3 - 8 五反田PLACE 8階

<https://www.datasection.co.jp>

注意事項

- 本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。